

## 本学における共通機器センター共用方針

大学予算をもって調達を行った大型（高額な）設備機器については、大学全体で（豊洲キャンパス・大宮キャンパス）有効に活用するため、共通機器センターに設置することとする。

当センターの共用利用により、以下のような効果が期待される。

- (1) 教育研究環境の改善
- (2) 教員の管理業務の負担軽減
- (3) 保守・修繕費の見直し、適正配分による支出抑制
- (4) 受益者負担（課金制度）による運営財源の一部確保
- (5) 研究力の向上（ブランド力アップ）

また、学内者を中心に共用利用を行うが、本学との共同研究を実施する目的などで、一部の機器については学外者の共用利用を認めることとする。

近年では、研究室単位での購入が難しい中・小型機器についての需要も多く、大学予算において設置を行い、引き続き本学の研究体制の一層の強化を図るため、先端機器の確保と効率的運用、学内研究者へのサービス向上等に努めていくこととする。

SIT 総合研究所長